

最先端のベクターツール開発、 供給の拠点 国内外の生命科学研究の推進に寄与

群馬大学長 石崎 泰樹



群馬大学未来先端研究機構ウイルスベクター開発研究センター開設5周年記念シンポジウムに際し、本学を代表してご挨拶を申し上げます。

群馬大学未来先端研究機構は、群馬大学の強み、特色のある分野の研究力を世界最高水準に強化するための本学の研究プラットフォームであり、国内外のトップレベルの研究者と連携し、先進的な研究を推進しております。

その一環として、大学内の重点領域プロジェクトとして支援してきたウイルスベクター研究をさらに推進するため、2019年10月に、未来先端研究機構内にウイルスベクター開発研究センターを設置いたしました。

このセンターは、日本におけるウイルスベクター研究の拠点として、世界最先端のベクターツールの開発、供給、データの蓄積および情報発信、人材育成に取り組み、国内外のウイルスベクター研究の推進に寄与してきたと自負しております。この度、ウイルスベクター開発研究センター開設5周年を記念して、これまでの最新の研究成果を振り返り、合わせて今後の展開を考えるシンポジウムを開催できますことを誠に喜ばしく思います。

本日は、ご来賓として文部科学省研究振興局ライフサイエンス課から釜井宏行課長をお迎えするとともに、総合科学技術・イノベーション会議常勤議員上山隆大先生に、国際競争の激しい最先端研究を地方国立大学が推進するにあたり果たすべき役割についてお話をいただく機会を得ましたことに深く感謝申し上げます。

結びに、ご多忙の折、本シンポジウムにご出席をいただきました皆様に心から感謝申し上げますとともに、このシンポジウムが日本のウイルスベクター研究開発のさらなる発展の契機となりますことを祈念いたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。